

11月7、8日にJIA大会千葉

日本建築家協会(JIA、佐藤尚巳会長)は、11月7、8日の2日間、千葉市中央区で「JIA建築家大会2025千葉」を開催する。大会テーマは「せんのちから 多様性を尊重し繋(つな)がりを生み出す、社会と建築のあり方について」。メイン会場は千葉県文化会館。大会式典は7日午後1時から。建築家や技術者、行政、市民、学生など100人以上が登壇。20以上のトークセッションを用意している。

開催時間は7日が午前10時30分～午後5時30分、8日が午前10時～午後5時30分。一般・学生は無料で参加できる。事前の参加申請手続きは不要。会場の所在地は千葉県文化会館が市場町11の2。千葉大学るのはな同窓会館が亥鼻1の8の1。

プログラムは次の通り。▷プログラム名=開始時間、主な登壇者。敬称略。

【7日】

▷私にとっての「槇文彦」=午前10時30分、富永譲▷JIA全国10支部合同企画「注目の若手建築家による建築討論」=午前10時30分、福田幸子▷「保存再生の今とこれから」=午前10時30分、鯉坂徹▷歴史的意義ある建築の保存と誇るべき日本の景観～価値ある建物の保存・利活用を県民と考える=県立図書館と大高建築=午後2時10分、額原澄子

▷土と水と建築・都市=午後2時10分、楠見晴重▷International Presidents' Forum (IPF)=午後2時10分、Ar.Evelyn LEE▷「建築家」ってだれですか?=午後4時、古谷誠章▷偉大な先輩建築家に学ぶVol.10大高正人一人と都市と建築=午後4時、松隈洋▷第19回ベネチア・ビエンナーレ国際建築展「In-Between」から考える：建築をたがやし情報を育てる実践=午後4時、伊藤亜紗

▷「越境建築家」たちとの対話―「越境」が建築家にもたらすもの―=午後4時、坂田泉▷社会に発信する建築家のメディア実践を

テーマは「せんのちから」20以上のトークセッション

JIA建築家大会の告知
ポスター(「JIA千葉提
供」)



考える=午後4時、小山光

【8日】

▷千葉のまちの真ん中をデザインする～開府900年から1000年へ向けた持続可能なにぎわいづくりと人づくり～=午前10時、田中章▷建築とテクノロジーの関係を問い直す―若手建築家が見据える設計の未来=午前10時、荒木美香▷これからの職能に向けて、建築教育はどうあるべきか=午前10時、岩元真明▷都市と地方が混在する千葉の食・文化の現状と未来～農とまちをつなぐコミュニティから考える～=午後0時30分、山根正敬▷気候変動や社会変容を見据えた持続可能な社会基盤の未来像～建築・ランドスケープの新たな関係性を探る～=午後0時30分、長谷川浩己

▷地域づくりと建築家の新たな活動=午後0時30分、伊藤孝仁▷建築学生が考える「これからの建築と社会」@千葉=午後0時30分、平田雅也▷ケアと建築=午後2時15分、飯田大輔▷木材の非生産県における地域木材活用のための社会の仕組みづくり～安定した木材生産にむけた千葉県の林業と建築家の連携～=午後2時15分、福田彰▷DOCOMOMO建築に学ぶ創造性―DOCOMOMO Japan25年=午後2時15分、安田幸一▷事前防災への取組と今後の展望=午後2時15分、相楽俊洋▷「オーバービュー・セッション」せんのちからと建築家のつながり=筏久美子。